

第10回

太陽地球惑星系科学 (STP)

シミュレーション分科会

幕張メッセ、2013年5月24日

アジェンダ

- 三学会合同セッションの報告（松清修一）
- 今年度の研究会の開催について
 - STEシミュレーション研究会（梅田隆行）
 - シミュレーション技法勉強会（寺田直樹、代読：深沢圭一郎）
- 名大スパコン更新情報（梅田隆行）
- HPCI戦略分野5 ユーザー支援の宣伝（松本洋介）
- 京を含むHPCI利用研究課題の追加募集（松本洋介）

プラズマ宇宙物理3学会合同セッション

第7回プラズマ宇宙物理3学会合同セッション報告

日本物理学会春季年会 2013年3月26日～29日

場所: 広島大学 東広島キャンパス

全講演数 80件 (内、SGEPSS24件)

全て口頭: 一般64件、シンポジウム16件

※ サブセッションリーダーを立てていないことを考慮すると、かなり定着してきた印象。

前回までの共催セッション

第1回 日本物理学会60回年会(2005.3) 口頭発表121件

第2回 地球惑星科学連合大会(2006.5) 口頭93件、ポスター92件

第3回 日本天文学会秋季年会(2007.9) 口頭97件、ポスター10件

第4回 日本物理学会64回年会(2009.3) 口頭151件

第5回 地球惑星科学連合大会(2010.5) 口頭107件、ポスター62件

第6回 日本天文学会春季年会(2012.3) 口頭50件、ポスター36件

プラズマ宇宙物理3学会合同セッション

--- アンケート調査結果 ---

領域2ウェブページで公開

(http://div.jps.or.jp/r2/pdf2/2011/Questionnaire_plasma2011.pdf)

継続を望む意見が多数

日本物理学会領域2 at Plasma Conference 2011

アンケート結果

全回収アンケート枚数：105

Q1. ご所属の学会（該当するもの全てに○）

- ① 日本物理学会 ② 応用物理学会 ③ プラズマ・核融合学会
④ 天文学会 ⑤ 地球電磁気・地球惑星圏学会 ⑥ その他

③ プラズマ・核融合学会	90
① 日本物理学会	81
② 応用物理学会	16
その他	17

その他には

地球電磁気・地球惑星圏学会 4

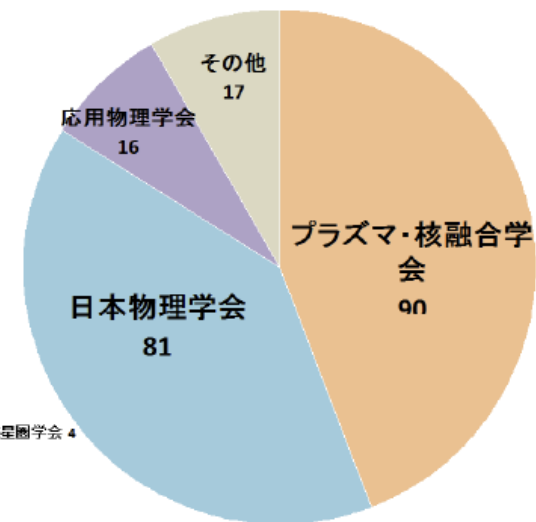
天文学会 1 を含める

(原子力学会、電気学会、APS、

AGU、ACM、可視化情報学会、

日本航空宇宙学会 レーザー学会)

※その他には
地球電磁気・地球惑星圏学会 4
天文学会 1
を含める



第8回3学会合同セッションについて (SGEPSS担当)

JpGU(日本地球惑星科学連合)2014年大会

開催期間 : 2014/4/28~5/2

開催場所 : 横浜パシフィコ会議センター(横浜市)

発表形態 : 口頭+ポスター(第5回:107件+62件)

参加費 : 会員 =16000円(院生= 8000円)

非会員=24000円(院生=15000円)

講演申込 : 2014年2月頃

形態、サブセッション構成などの詳細を、今夏頃までを目途に各学会世話人との議論を通じて詰めていく予定。

第7回世話人

物理学会 : 安藤 晃(東北大)、井 通暁(東大)、永岡賢一(NIFS)、三好隆博(広島大・代表)

SGEPSS : 篠原 育(ISAS/JAXA)、杉山 徹(JAMSTEC)、中村 匡(福井県立大)、松清修一(九大・代表)

天文学会 : 犬塚修一郎(名大)、柴田一成(京大)、新田伸也(筑波技術大)、松元亮治(千葉大・代表)

STEシミュレーション研究会 開催場所・日程決め

- ・ 9月の第4週（23 – 28日）@名古屋大学
でSTEL研究集会に申請
- ・ 開催場所の制限：名古屋大学 or 申請者が 所属
する機関

（例外）他研究集会と共催の場合

- ・ みなさん、2年連続で名古屋に来たいですか？
- ・ できれば、科研費申請の前（～10月中旬）ま
でに開催したい

研究会のお知らせ

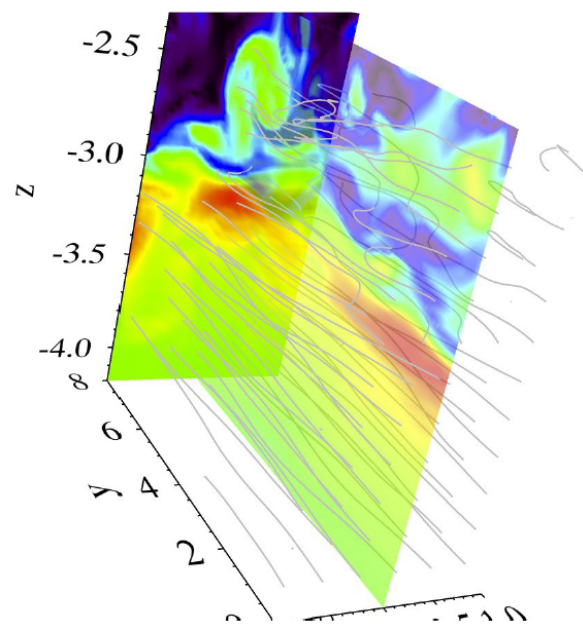
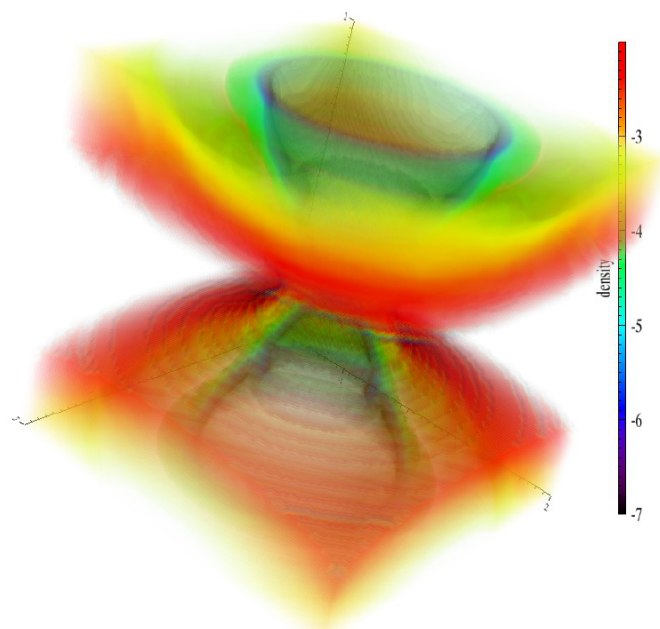
- 「シミュレーション技法勉強会 - 宇宙プラズマ、天体 - (仮称)」
 - 開催時期：12月 or 2月
 - 開催場所：九州大学
 - 共催：京大RISH、九大情報基盤研究開発センター、HPCI戦略プログラム分野5

名古屋大学スパコン更新(2013/10～)

現行(～2013/7)	Phase I (2013/10～2015/3)	Phase II (2015/5～2019/3)
M9000 (S1) 3ノード —64コア・1TB/ノード —5TFlops	Ivy Bridge + MIC (S2-2) 184ノード —vSMP (～4TB/ノード) x 5 —48.7TFlops x 5	
HX600 (S2) 160ノード —16コア・64GB/ノード —25.6TFlops	Ivy Bridge (S2-1) 368ノード —24コア・64GB/ノード —190.7TFlops	Haswell (S2-1) 384ノード —28?コア・128GB/ノード —464.6TFlops
FX1 (S3) 768ノード —4コア・32GB/ノード —30.7TFlops	FX10 (S1) 384ノード —16コア・32GB/ノード —90TFlops	FX10後継 (S1) >2000ノード —1TFlops/ノード・32GB/CPU —2.4PFlops以上
ストレージ —物理1PB	ストレージ —実効3PB	ストレージ —実効6PB
フロントエンド —S1:1ノード —S2:12ノード	フロントエンド —Ivy Bridge :24ノード —24コア・256GB	

HPCI戦略分野 5 ユーザー支援

- 相談内容
 - ライブラリ情報
 - コードの高速化の相談 (MPI, OpenMP)
 - アルゴリズム
 - 可視化 (IDL)
- 分野
 - 素粒子
 - 原子核
 - 宇宙 (MHD、粒子)
- 言語
 - Fortran
 - C, C++



HPCI戦略分野 5 ユーザー支援

検索

京を含むHPCIシステム利用追加募集

- **〆切5月28日（火）17：00（JST）**
- 結果発表：9月上旬
- 実施機関：平成25年10月1日～26年3月31日
- 京では50/100万ノード時間（一般、若手枠）
- 京以外の資源（情報基盤センターのスパコン）
- HPCI共用ストレージ